

サークル活動完了報告書

サークル名	環境整備隊	発表者	佐々木 智宏
		リーダー	行政 美穂
部署	4階西病棟	サブリーダー	佐々木 智宏
活動期間	開始:平成24年 9月 1日 終了:平成25年 1月 31日	メンバー	行政 美穂、関 留美子 佐々木 智宏、高下 俊輔
会合状況	会合回数 6回 1回あたりの会合時間 30分		
所属長/推進メンバー	関 留美子	所見欄	
レビュー担当者	株麻生 向野早苗		

テーマ 廊下の環境整備に努める

テーマ選定理由

- ・前回のCSで車椅子の整理に取り組んだが、継続されず片付けがされていない。
- ・勤務終わりにパソコンが乱雑に置いてあり、整理する必要があると感じた。
- ・片付けのスペースが限られていないので、器材庫を整理し片付ける必要があると感じた。
- ・廊下に、ポータブルトイレ・歩行器があり、廊下を有効に使えるスペースが限られるため片付けるよう取り組んだ。
- ・上記を理由に今回のテーマに選定した。

現状把握

パソコン…勤務終了時に、体温計や血圧計がそのままになっていたり片付けるスペースも決まっていないため、パソコンの片付け方に差がみられていた。

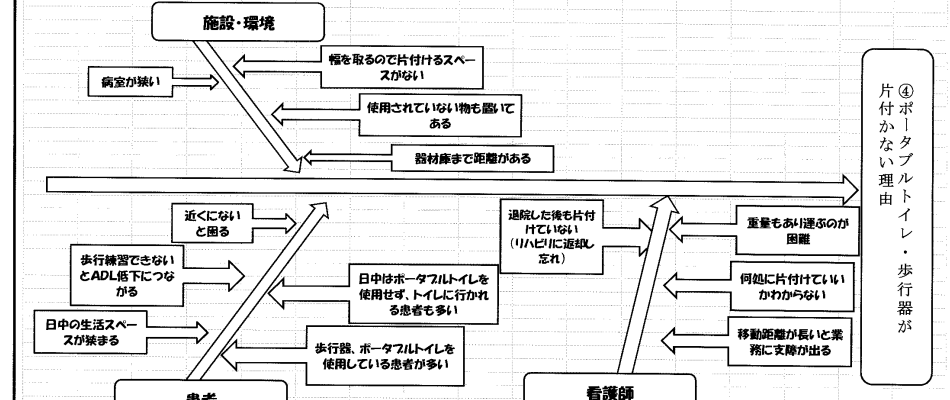
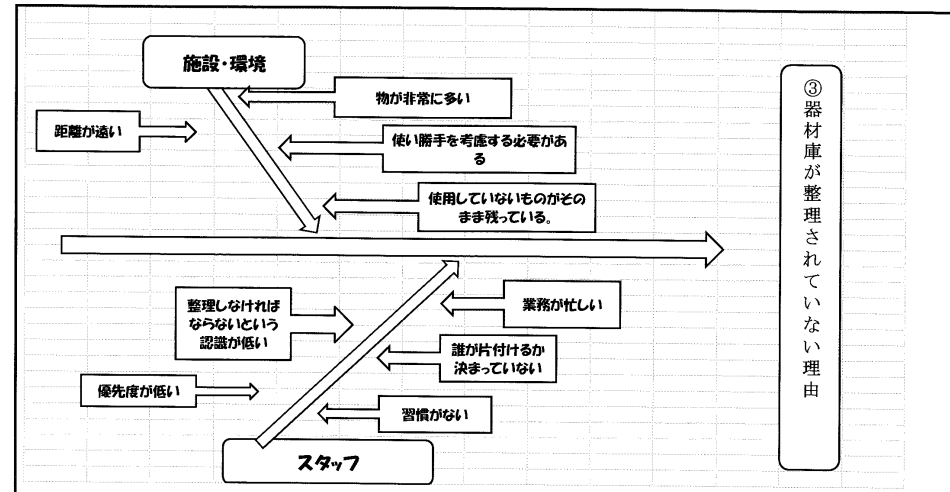
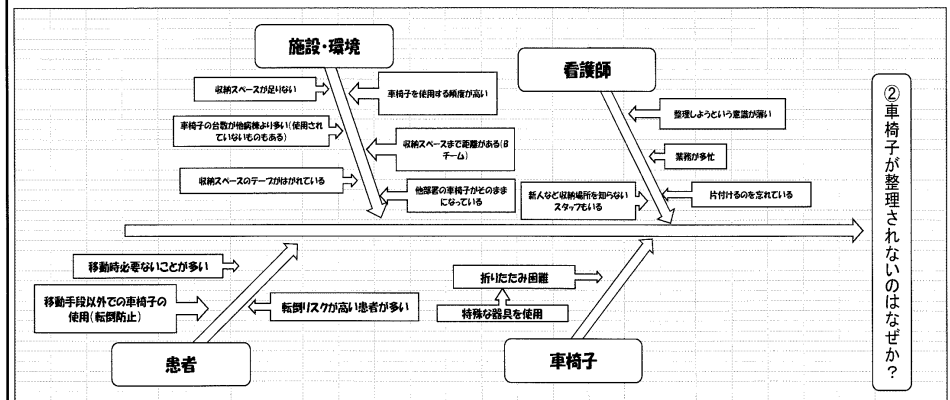
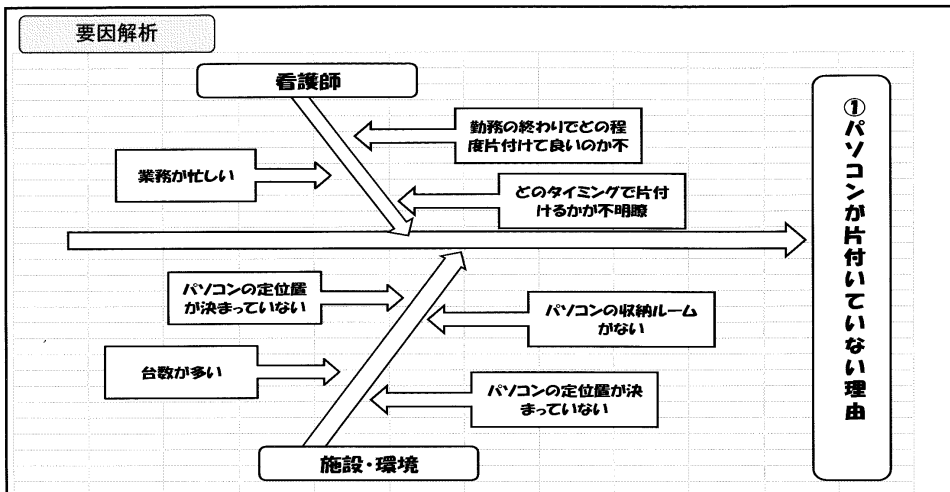
車椅子…車椅子の収納スペースを知らない人がいたり、以前作成した収納スペースのテープが剥がれていた。片付けなければいけないというスタッフの認識も薄れていた。

ポータブルトイレ・歩行器…日中廊下に2～3台廊下に出ている。夜間は部屋に収納されている。(ポータブルトイレを使用される時間帯が夜間に限っているため)日中はリハビリの送迎が不便、車椅子の出し入れが困難なため、日中ポータブルトイレを廊下に出している状況が多かった。歩行器はリハビリで必要な方に限り、リハビリから患者様に貸出をされているが、歩行器の使用される患者様がおられない時は廊下に全くない状況。

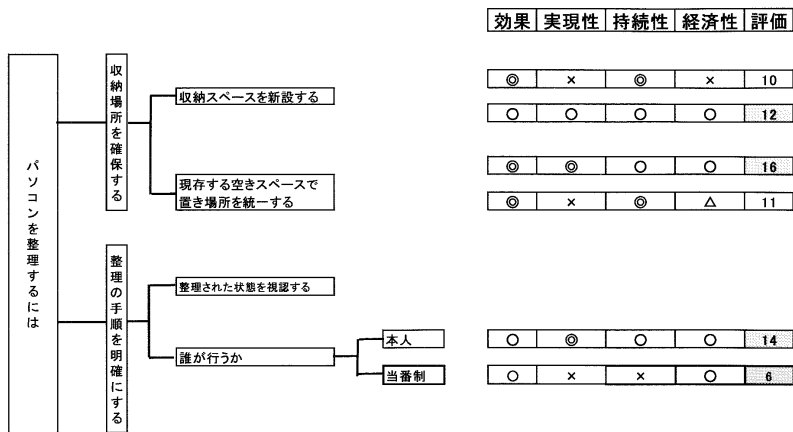
器材庫…使用していない物や、不必要なもの、他部署の点滴台などそのままになっているものが多くあった。感染ボックスなども必要以上に作成され置かれている。

目標設定

- ・車椅子が収納スペース以外に置かれていない。
- ・勤務終了時のパソコンが片付けられている。
- ・不必要なポータブルトイレ、歩行器は廊下に置かれていないようにする。
- ・器材庫の収容スペースの拡大。

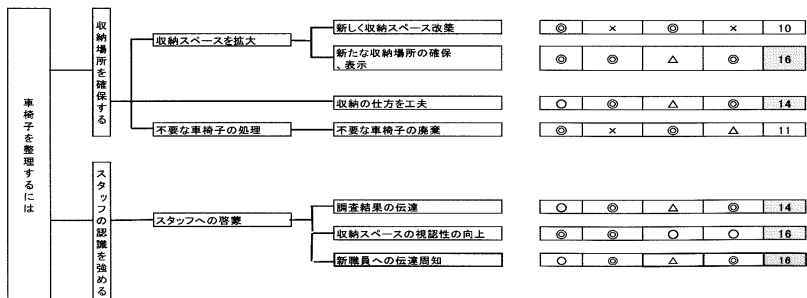


対策立案



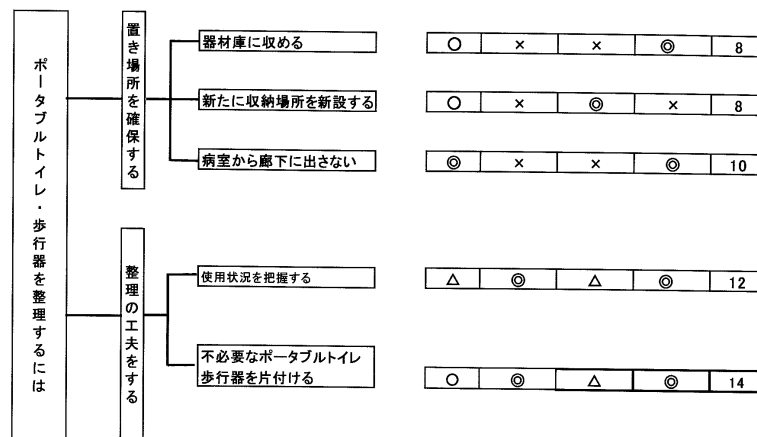
◎:5点 ○:3点 △:1点 ×:0点
14点以上を実施

効果 | 実現性 | 持続性 | 経済性 | 評価



◎:5点 ○:3点 △:1点 ×:0点
14点以上を実施

効果 | 実現性 | 持続性 | 経済性 | 評価



◎:5点 ○:3点 △:1点 ×:0点
14点以上を実施

対策実施

when	what	who	where	why	how
11月	車椅子置場の確保	CSメンバー	以前の車椅子収納スペース	意識付け	ビニールテープを目立つ色で貼りなおす。
病棟集会(月1回)	CS活動の宣伝	CSメンバー	休憩室	意識付け	スタッフに廊下の整理を定期的に意識させる
常時	パソコンの整理・整頓	病棟スタッフ	病棟	美観向上、廊下の整理	物品置き場所の固定、マニュアル化。
1週間ごと	ポータブルトイレ・歩行器の整理。	病棟スタッフ	廊下	廊下活用スペースの拡大、美観向上	週毎に使用されていないポータブルトイレ、歩行器をチェックし返却、片付け。
1月	器材庫の整理	CSメンバー	器材庫	器材庫の収容スペースの拡大。	不要な感染ボックスの撤去。使用しなくなった物品の廃棄、他部署の物品の返却。

効果確認

効果・確認は CS 開始前後で写真を撮って比較した。
(発表時のパワーポイントに掲載)

パソコンの整理・整頓は全員に定着することができたが、車椅子の整理については取り組み時期が遅かったこともあり効果にバラツキがみられた。片付けられている日と片付いていない日がみられる。

標準化

when	what	who	where	why	how
11月	車椅子置場の確保	CSメンバー	以前の車椅子収納スペース	意識付け	ビニールテープを目立つ色で貼りなおす。
病棟集会 (月1回)	CS活動の宣伝	CSメンバー	休憩室	意識付け	スタッフに廊下の整理を定期的に意識させる
常時	パソコンの整理・整頓	病棟スタッフ	病棟	美観向上、廊下の整理	物品置き場所の固定、マニュアル化。
1週間ごと	ポータブルトイレ・歩行器の整理。	病棟スタッフ	廊下	廊下活用スペースの拡大、美観向上	週毎に使用されていないポータブルトイレ、歩行器をチェックし返却、片付け。
1月	器材庫の整理	CSメンバー	器材庫	器材庫の収容スペースの拡大。	不要な感染ボックスの撤去。使用しなくなった物品の廃棄、他部署の物品の返却。

まとめと今後の課題

パソコン、器材庫の整理に関してはスタッフに定着しきれいになった。車椅子の整理に関しては、日によってばらつきがあり、片付いている日と、片付いていない日の差がみられた。その日の業務の煩雑さや、患者の車椅子の使用頻度や人数によるものと考えられ、今後どう統一していくかが今後の課題である。使用されているポータブルトイレや歩行器に関しても、廊下に出ているものも含め、今後どうにか整理できるようこれから考えていきたいと思う。

前回の車椅子での取り組みで、継続できなかった反省があるので、今後は継続できるように取り組んでいきたい。